

市民のための精神障がい理解促進イベント

ハートふれあいまつり

13

～きよりはとつても、こころはそばに～
(ディスタンス)

入場無料

令和5年3月11日(土)

午前10時30分～午後3時30分

会場

吹田歴史文化まちづくりセンター『浜屋敷』

(吹田市南高浜町6番21号)

※お客様用駐車場はございません。ご来場の際には電車・バスなどをご利用ください。

大人も子どもも
◇ 老若男女 ◇
楽しめる!!

パネル展示 会場内あちこちに
各コーナーをまわって、読んでみてね

食べて満ちて、見て満ちて、作って楽しみ、
聴いて感じて、参加して感じて、
こころでふれあい、考えてみて…
皆さん、会場でお会いしましょう!

小物づくり

体験コーナー
主屋ですよ～

子どもコーナー
紙芝居やバルーンアートも
いらいら棒で、ちょこっとドキッ!

音楽ステージ
西の庭に来てね～

こころのチェックコーナー
こころの体温計、測ってみる?
アルコールパッチテスト
試してみよう!

フードコーナー
東の庭でお腹も満ちる…

—朗読— 『kanjiさんの青空』
精神科病院から25年ぶりに退院するkanjiさんの物語を紙芝居にしました。
「退院したいけれど、本当に退院できるかな・・・」という戸惑いの気持ちから、みんなの応援を受けることで「不安やけれど、なんとかかなりそう」という気持ちに変化し、新たな生活へ歩んでいく様子が描かれています。
あなたはこの紙芝居を見て、どんなふうを感じるのでしょうか?



吹田市イメージキャラクター すいたん

JR吹田駅から 徒歩約15分
阪急吹田駅から 徒歩約20分
阪急相川駅から 徒歩約10分



※天候により、一部プログラムが変更されることがあります。

※各コーナー、材料がなくなり次第プログラムが終わることがあります。

主催 ハートふれあいまつり実行委員会

共催 吹田市、吹田市保健所、社会福祉法人吹田市社会福祉協議会、吹田の精神保健福祉を考える市民の会こころの交差点
内本町コミュニティ協議会障がい者支援部会、吹田市断酒会、吹三地区福祉委員会、ハントン訪問看護ステーション
社会福祉法人のぞみ福祉会、吹田精神保健福祉ボランティアグループ「アムール」、のぞみ家族会

後援 吹田市教育委員会

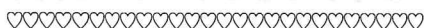
お問合せ・連絡先

(社会福祉法人) のぞみ福祉会「きらめき」 TEL 06-6385-2713 (担当 しもごおり)

ハートふれあいまつりってなに？

ハートふれあいまつりは、2011年（平成23年）から毎年3月に開催し、地域のまつりとして定着しつつ、毎回約800人という多くの来場客に盛り上げて頂いてきました。精神障がいのあるなしに関わらず、子どもから大人までみんなが楽しむことができ、精神障がいについての正しい知識を普及することを目的とし、障がいや病気のある方が暮らしやすいまち、誰にとっても暮らしやすいまちづくりを目指しています。新型コロナウイルス感染予防のため2020年（第10回）から2022年（第12回）は、会場での開催は中止となりましたが、まつりの復活を願いつつ、ホームページとチラシで、地域の社会資源の情報を提供してきました。

こころの病気は誰でもがかりうる病気で、珍しい病気ではありません。病気になってしまった結果、生活にいろんな困りごとが起こることも多く、障がい福祉サービス等を利用し、問題の解決を図っていくことができます。



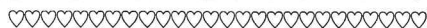
しかし、いろんな福祉制度があれば事足りるわけではなく、ひとりの住民として近隣の方々の理解が必要になります。



まだまだ、今の日本では精神科の敷居は高く、「そんな病院にかかっていることが知られたら困る」と考えている方も大勢いらっしゃいます。体のけがや病気と違って目に見えない心が相手ですから、「どう接してよいかわからない」、「何をするかわからないから怖い」、という声も聞こえてきます。



また、予防という観点からも早目の気づきや、受療が有効だと言われていますが、自分の中に偏見があれば、病気を認めることが難しくなります。



こころの交差点では1995年から精神障がいについて広く市民の理解を深めていただく目的で、公民館や集会所などを利用し、さまざまなこころの問題、その予防、福祉の情報、当事者の体験談発表など、市民向け講座を行ってきました。



そこで、「当事者と直接触れ合ってもらい理解を深めてもらおう」、「病気の〇〇さんではなく、近所の〇〇さんとして付き合ってください」という思いから、当事者と支援者、ボランティアや学生たちで作るまつりを行うことになりました。



まつりを通して様々な立場の人が、協同して取り組み、「病気になっても安心して暮らし続けることができる」と思える地域づくりにつなげたい。障がいをお持ちの方が暮らしやすいまちは、誰にとっても暮らしやすいまちなのだと、皆さんに気づいていただくためのまつりです。

